

# 世界各地で抗議デモ

イスラエルの激しい報復攻撃に対し、世界各地で5日も抗議行動が行われました。「今すぐジェノサイドをとめる」「即時停戦を」と街頭で人々が喝采しました。

現地からの報道によるところ、中米メキシコでは、メキシコ市の市中心部でペレスチナを支持するデモ行進が行われました。参加者は、即時停戦とメキシコ政府にイスラエルとの断交を要求。「今すぐジェノサイドをやめる」などと書かれたフラガードを手に独立記念塔から憲法広場まで歩きました。

地中海のキプロスでは同日、「ヨンシア中心部の大通りに、ガザへの人道支援を求める横断幕などを持つて市民が集まりました。集会は、パレスチナの人々と平和を求めるイスラエル人を支持すると声明を出した「キプロス平和評議会」が

呼びかけ、野党の幹部も集会に参加しました。「即時停戦を」などと書かれたフラガードを持って人々が行進しました。

このほかギリシャのアテネでも、パレスチナを支持するデモ行進が行われました。

ベルギーのアリュッセルでは同日、市中心部の広場で人々が「即時停戦を」「ペレスチナを解放せよ」などのスローガンを喝采。ペレスチナの旗を掲げ、イスラエルを全面支持する欧州連合(EU)や米国に対して、「イスラエルの犯罪に共謀している」と批判の声をあげました。

5日、ガザでの即時停戦を求めて行われたメキシコ市のデモ行進(ロイター)。  
「ジェノサイドを今すぐやめる」「アラブの人々の人間性を奪うのをやめる」と書かれたフラガードを参加者が掲げました

